

### 4.3.3 その他（ニュースなど）

#### (1)NHK ニュース

2003年2月5日 19時25分 大規模地震に備え相模湾の地殻調査始まる

（報道内容）

大規模な地震災害に備えるため首都圏の広い地域で人工的な揺れを起こして地下の深い所の構造を明らかにしようという調査が今日から神奈川県の箱根町（ハコネマチ）で始まりました。

調査は東京大学地震研究所が静岡県の三島市から神奈川県西部の小田原市までのおよそ二十キロの間で行うもので、人工的に揺れを起こす大型の車を四台使って二百メートル間隔で揺れを起こし、その揺れが地下二十キロを超える地殻までどのように伝わるのかを観測します。

地下の深い所の地殻の構造を調べる事で大地震が起きた時の揺れの強さや伝わり方を予測し災害に備える事が期待されています。

さらに小田原市から横浜市にかけては海上の船からエアガンと呼ばれる圧縮した空気による音波を使って海底の地層の構造を明らかにする調査も行います。

東京大学地震研究所は去年房総半島で同じ調査をしたのに続いて、今後東京湾でも調査をする予定で首都圏の広い範囲で地殻の構造を調べる事で科学的なデータを防災対策に役立てて欲しいとしています。

#### (2)NHK 教育テレビ番組

（タイトル）サイエンスZERO “すすむ大都市地下探査 地震研究最前線”

（放送日時）2003年4月30日（水）0:00-0:44 NHK教育TV 全国放送

（内容）

いま大都市圏の地下がどうなっているのか、ハイテク装置を使った大規模な探査が行われています。また地震発生メカニズムについての新たな考え方は、コンピューターを駆使した地震の揺れ予測の精度向上をもたらしつつあります。番組では地震研究の最前線に迫ります。[NHK/科学・環境番組/ディレクター北野和宏による]



サイエンスZERO “すすむ大都市地下探査 地震研究最前線”の冒頭のシーン  
図の右端が菊地正幸教授